歯科助手学科　3 つのポリシー

ディプロマポリシー

歯科助手学科は、「養成目的」と「教育目標」に基づいて、医療機関等で求められる社会人基礎力があり、医療機関等のスタッフとして必要とされる専門知識と技術を兼ね備えた人財を、社会・業界に送り出します。卒業までに 1 年間で身につけるべき資質を以下に示します。

1. 歯科助手業務への基本的な態度が培われている。
2. 実践力として求められる社会人基礎力（医療人、社会人としての身構え、気構え、心構え）を身につけている。
3. それぞれの就業希望分野における基本的な実務能力やカウンセリングマインド、及び IT 関連技術を身につけている。

カリキュラムポリシー

歯科助手学科は、「養成目的」と「教育目標」を実現するために、「専門職業教育」と「キャリア教育」を体系的に一体化した 1 年間の医療人教育のカリキュラムを提供します。カリキュラムの柱を以下に示します。

1. 医療機関等との連携プログラムにより、医療人としての基本的な態度や姿勢を身につけます。
2. 学内における様々な実践的な教育・就職プログラムで、ひとり一人の人間的成長とキャリア設計を実現します。
3. 診療報酬や歯科診療補助、カウンセリングに関する資格を取得します。

アドミッションポリシー

「養成目的」と「教育目標」に共感できる入学者を受け入れます。求める人材像を以下に示します。

1. 目的、目標を持ち、広く医療に貢献したいと考える人。
2. 仕事観、勤労観を備える人。
3. 自ら学ぶ姿勢と自己の課題を発見し解決するなど、生涯にわたって自らのキャリアを形成する意識を備える人。